

2020年9月7日

報道関係者各位

神六再開発株式会社
東急不動産株式会社

「神宮前六丁目地区第一種市街地再開発事業」 表参道・明治通り交差点に新施設が2022年度(予定)に誕生 建築家・平田晃久氏による「まちを編む」外装デザイン

神六再開発株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：小澤 広倫）と、権利者及び特定事業参加者である東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：岡田 正志）は、共に事業を進めている「神宮前六丁目地区第一種市街地再開発事業」（以下「本事業」）の外装・屋上デザインが決定したことを、お知らせいたします。

本事業は、表参道と明治通りが交差する神宮前交差点の南西角に位置し、2020年1月9日付で権利変換計画の許認可を受けた再開発事業です。ファッションブルな生活文化を創造する魅力ある商業空間の形成を目指す原宿・表参道エリアにおいて、新たなランドマークとして、2022年度の竣工を予定しています。土地の合理的かつ健全な高度利用により、立地特性に相応しい商業拠点等を整備してにぎわいを形成するとともに、安全な歩行者空間の形成、周辺住環境に配慮した再開発を行い、原宿・表参道エリアの更なる魅力向上に寄与します。



＜外観イメージ(昼)＞



＜外観イメージ(夜)＞



＜屋上イメージ＞



■平田晃久氏による外装デザイン「KNIT DESIGN」。自然と人工の共存を表現。

本事業は、建築家・平田晃久氏が外装・屋上デザインを手掛け、自然と人工の多種多様な要素―表参道のケヤキ並木や緑豊かな神宮の森や洗練された表参道の街並みなどが共存する新しい都市を表現しています。外装のコンセプトは「KNIT DESIGN（まちを編む）」で、「原宿・表参道」という街を意識し、古と新との融合、外と内との融合など、共存しながら未来につなげる街づくりをイメージしました。

ガラスの外装は2つのエリアに分かれ、凹凸面の“umi”エリアでは、季節ごとに移りゆく街並みや空、街を行き来する人、ケヤキ並木の緑など、「まち」の姿をガラス面に映し込みます。一方で、フラット面の“shima”エリアは、建物内部の「みせ」が発信する賑わい、新しいモノづくりや体験の場を発信します。施設全体が「まち」と「みせ」それぞれの反射により混ざり合い、ひと・みどり・街並みなど、この街特有の様々なものがまちを編む込むニットのように絡み合い、共存する姿を表現しました。ガラスファサードは、熱負荷低減に効果のあるガラスを採用しており現代的でシャープなデザイン性だけでなく、環境にも配慮したデザインを目指します。



“shima”(=フラット面)

「みせ」が発信する、新しく多様なイメージ・コミュニケーションの場をピットなままとりとして映し出します。

“umi”(=凹凸面)

移ろい行く「まち」の姿や空、けやき並木を反射率の高いガラス面に映し込みます。

【建築家・平田晃久氏 プロフィール】



1971年大阪府に生まれる。1997年京都大学大学院工学研究科修了。伊東豊雄建築設計事務所勤務の後、2005年平田晃久建築設計事務所を設立。現在、京都大学教授。

主な作品に「枳屋本店」(2006年)、「sarugaku」(2008年)、「Bloomberg Pavilion」(2011年)、「太田市美術館・図書館」「Tree-ness House」(2017年)、「9hours Project」(2018-2019年)等。第19回JIA新人賞(2008年)、第13回ベネチアビエンナーレ国際建築展金獅子賞(2012年、共働受賞)、村野藤吾賞(2018年)、BCS賞(2018年)等多数受賞。著書に『Discovering New』(TOTO出版)、『現代建築家コンセプト・シリーズ8 平田晃久 建築とは<からまりしろ>をつくることである』(LIXIL出版)等。



■ 広域渋谷圏での開発を継続的に推進

渋谷駅周辺は、表参道、原宿、青山、恵比寿、代官山など個性豊かな街が複合的に結びつくエリアです。東急不動産では、この渋谷駅を中心とするエリア一体を「広域渋谷圏」と定め、都市開発の重要拠点として位置づけています。渋谷駅周辺における大規模な再開発プロジェクトでは、2019年3月にオフィスビルの「渋谷ソラスト」、同年10月に複合施設の「渋谷フクラス」が竣工。現在も2023年の竣工を目指し、職・住・遊が一体となる「渋谷駅桜丘口地区」の再開発を推進中です。また、本事業の周辺でも「東急プラザ表参道原宿」(2012年開業)や「キュープラザ原宿」(2015年開業)など、エリアの特性を生かした商業施設を開発・運営しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による新しい生活様式への対応が必要となっています。東急不動産は、常に時代の変化に合わせた施設の在り方を検討し、プロジェクトを継続的に推進することで、今後も広域渋谷圏の更なる発展に寄与してまいります。



<渋谷駅桜丘口地区第一種市街地再開発事業>



<東急プラザ表参道原宿>



<キュープラザ原宿>

■ 事業概要

事業名称	神宮前六丁目地区第一種市街地再開発事業
施 行 者	神六再開発株式会社
施行地区	東京都渋谷区神宮前六丁目 1000 番
用 途	店舗、公共公益施設、鉄道用変電施設、駐車場等
敷地面積	約 3,085 m ²
延床面積	約 19,930 m ²
階 数	地上 10 階、地下 2 階
設 計 者	(設計・監理)株式会社日建設計 (外装・屋上デザイン)平田晃久建築設計事務所
施 工 者	清水建設株式会社



■ 事業の経緯及び今後のスケジュール

2016年 6月	都市計画決定
2019年 2月	事業計画認可
2020年 1月	権利変換計画認可
2020年 3月	解体工事着工
2020年 11月	本体工事着工 (予定)
2022年度	竣工(予定)

